

事業名	健診検査体制整備費	財務コード (事業)	092701
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	生活習慣病検診等管理指導協議会開催事業費
------	----------------------

担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課 がん対策推進 担当 (内線)	3525
-------	------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S60 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	誰(何)を対象に 市町村が行う健康増進法に基づく健診事業(がん検診、特定健診等)	その対象をどのような状態にして 効果的・効率的に実施されている	結果、何に結びつけるのか 県民の健康の増進
	事業の内容 ※主に 23年度 ○事業概要 がん、心疾患や脳血管疾患等の生活習慣病の予防・早期発見のために市町村が行う健診事業(がん検診、特定健診等)の状況を把握し、市町村及び検診実施機関に対し、生活習慣病検診の実施方法や精度管理のあり方について専門的な見地から適切な指導・助言を行う。 ○平成23年度実績 生活習慣病検診管理指導協議会・各部会の開催(各年1回開催) ・胃がん・大腸がん・肝がん部会 ・肺がん・乳がん部会 ・子宮がん・登録評価部会 ・循環器疾患等部会		
根拠法令等	健康増進法、健康診査管理指導等事業のための指針(平成20年3月31日厚生労働省健康局総務課長通知)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 総会の開催(隔年)部会の開催	4回	4回	4回	4回	4回	活動指標 目標設定の考え方 過去の実績を参考に設定。 データの出典等 予算見積書
	活動指標達成率(実績値/目標値)	100.0 %				
成果指標 成果指標達成率(実績値/目標値)						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率(実績値/目標値)	%				
決算額、予算額	135		123	252	251	成果指標によらない成果 生活習慣病検診等管理指導協議会における課題の検討結果は、報告書として各市町村や健診機関、関係機関に配布され、指摘事項、問題点等について検診事業の改善に反映されている。
(千円) うち一財額	135		123	252	251	
所要時間(直接分)	540 時間		764 時間	540 時間	759 時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	540 時間		764 時間	540 時間	759 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	1,091		1,544	1,091	1,534	

III これまでの事業の見直し・改善状況

平成19年度から8部会を4部会に統合、同時にがん検診の事業実施主体である市町村の精度管理に対する意識付けを一層推進するため、構成員に市町村検診責任者を加えた。また、平成23年度から部会の食糧費について弁当から飲み物に変更し経費の削減を図った。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
	b	生活習慣病検診等管理指導協議会における課題の検討結果は、各市町村や健診機関、関係機関において指摘事項、問題点等について検診事業の実施方法や精度管理の改善に活用されており、意図した成果を上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目
無		

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。